

平成23年 林業における死亡労働災害（北海道内）

番号	災害発生日時等	年齢等	災害発生状況
23年 NO1	2月4日 9:30	男 40代	ブルドーザーを用いて伐倒したカラ松を作業道へ引き上げる作業を行っていたところ、付近でシカ猟などの狩りをしていたと思われるハンターの誤射により銃撃を受けたもの。
23年 NO2	3月2日 10:30	男 50代	自社の所有する山林の伐倒木をブルドーザーにより運搬を行っていたところ、同ブルドーザーが斜面を逸走して沢に転落した。ブルドーザーの走行跡に同運手が轢かれた状態で発見されたもの。エンジンをかけた状態で運転席から離れ、ブルドーザーが斜面を下り始めてので停車させようとした被災者が轢かれたと思われる。
23年 NO3	4月1日 10:20	男 50代	被災者のチェーンソーの音が聞こえなくなったことから別の作業員が様子を見に行ったところ伐倒されたトウヒ（胸高直径43センチ）の切口（根元）で仰向けになって倒れているところを発見されたもの。 現場の状況から2本並んで立っていたトウヒのうち一方を伐ったが、枝がらみで倒れず、もう一方をその状態のまま伐ったところ同時に倒れ、2本目が枯損木に衝突し跳ね返って被災者に激突したものと思われる。
23年 NO4	9月10日 15:40	男70代	胸高直径28センチのハンノキを伐倒した際にハンノキが縦に裂け、裂ける音を聞いた作業員が確認したところ、同ハンノキのそばに被災者が倒れていたもの。追い口切り込み中に縦に裂けて早く倒れたため退避が間に合わなかったものと推定される。
23年 NO5	11月2日 9:10	男 50代	作業場所が48度になる急傾斜地の杉人工林の伐採作業において、胸高直径25.7cmの杉を伐倒するにあたり、受口作設を行わず一気に鋸断し、伐倒木元口が坂下方向に滑動し、伐倒作業を行っていた被災者が樹幹の下敷きとなったものと推定される。